

よっかいち 子ども議会だより



子ども議会

50人の子ども議員を選出し、子ども議会を開催しました

趣 意

次世代を担う子どもたちが、四日市市をもっと住みよいまちにするためにはどのようにすればよいかを考えるきっかけとして、また、市議会をより身近に感じ、議会の役割や行政の仕組みを考える機会として、4月20日、子ども議会を開催しました。市内25の中学校からそれぞれ2人ずつ生徒を選出し、50人の子ども議員が市議会本会議場に集まり、四日市市のさまざまな施策や取り組みについて提言・質問を行いました。



目 次

- ◎子ども議員の質問…………… 2～3ページ
- ◎教育委員長講評…………… 3ページ
- ◎子ども議員名簿、質問をした子ども議員と項目、あとがきなど…………… 4ページ

子ども議員の質問から

総合計画の五つの基本目標について、それぞれ4人ずつ計20人が質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をご紹介します。質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット録画中継」をご覧ください。

自然環境に配慮した北勢バイパス整備を



大池中学校
構江明日菜

問 学校の活動を通じ自然を守ることはとても大変だと実感しているが、北勢バイパスは自然環境に配慮して整備しているのか。

答 建設工事に先立ち現状調査を行い、動物や植物に配慮して工事を進めている。道路造成でできる斜面等はできる限りコンクリートで覆わず、環境に優しい方法を用いている。

市民に本市の観光資源の周知を



三重平中学校
田中 優衣

問 本市は公害のイメージが拭えず、夜景クルーズ等の取り組みも市民の認知度が低い。イメージの転換や観光の発展には市民の意識から変える必要があると思うが、どうか。

答 魅力的な取り組みでも、市民が本市の魅力を再認識しなければ続かない。より市民と協力し、一緒に取り組めるよう意識したい。

清掃活動を通じマナー・モラルの向上を



暁中学校
長谷川清秀

問 清掃活動を通じマナー・モラルの向上や地域の絆が生まれると考えるので、親子で参加する地域清掃活動を市で計画してはどうか。

答 市では、環境美化のための教育や啓発活動を行っている。今後、ボランティアで環境美化に取り組む方の表彰等、市民の方が一層美化活動に取り組んでもらえるよう努める。

萬古焼のさらなる発展を願う



橋北中学校
井口 夢香

問 橋北地区は人口減少等が進み、伝統的地場産業である萬古焼も衰退しつつある。萬古焼をさらに発展させるため、本市としてどのような施策を考えているのか。

答 萬古焼は本市の大切な文化・歴史資源で、陶芸体験教室等多くの取り組みを行っている。皆さんも萬古焼を使い、広めてほしい。

東日本大震災の経験を生かした防災を



中部中学校
鷺野 千紘

問 避難訓練の内容が津波対策を意識したものに変わってきている。学校等の施設はいざという時に命を守る機能はあるのか。

答 海拔の低い地域にある学校等の3階建て以上で丈夫な建物100カ所を津波避難ビルとして指定している。訓練で得た経験を生かし日ごろからの備えを大切にしてほしい。

J R 四日市駅周辺の整備を進めよ



朝明中学校
安田 竜輝

問 J R 四日市駅周辺は閑散としており、駅周辺の整備等が必要である。駅周辺に本市の特産品の試食や体験ができる施設があれば、本市の発展にもつながると思うがどうか。

答 J R 四日市駅利用者への本市の魅力のPRは重要である。駅周辺の整備が必要と認識しており、議員の提案も参考にしたい。

緑ある快適な環境を実現するまちへ



内部中学校
松高 亜樹

問 内部川清掃や里山保全の活動が行われ、中学生も参加している。地域をあげて幅広い世代が参加する活動を実施してはどうか。

答 市には市民緑地制度があり、良好な生活環境を守るため、里山等地域の緑化を支援している。議員の意見を参考に、今後も緑あるまちとなるよう支援をしていく。

自転車で安全に通行できる対策を



海星中学校
小森 陽斗

問 自転車専用レーンのない道路を走る際には、自転車と自動車双方の運転者が危険を感じていると思うが、今後市としてどのような安全対策を実施していくのか。

答 今ある道路空間を有効に活用した自転車の走行環境づくりに取り組みつつ、体験型の交通安全教室の開催など啓発も進める。

昔からあるものと新しいものの共存を



富洲原中学校
野呂 和主

問 本市では、定期市や既存商店街と大型店舗が共存できる買い物拠点づくりとして、どのような対策を行っているのか。

答 大型店と商店街、定期市にはそれぞれの特徴があり、共存して市民生活を支えることが重要である。現在、定期市のPRやイベントに対する支援を行っている。

郊外を移動しやすいまちにするために



保々中学校
樋口 大聖

問 保々地区には、通学路に歩道や外灯がない箇所が多く、危険である。安全に通学できるよう、片側だけでも歩道を設置するなどの対策が必要と考えるがどうか。

答 全ての通学路の整備には多くの費用や時間が必要であるが、特に危険な箇所には学校やPTAとも協議して、早期に対応する。

近鉄内部・八王子線をなくさないで



笹川中学校
森脇 輝

問 登校時に西日野駅前を通ると、多くの通勤・通学者を見かける。また、沿線地域には高齢者が多く、交通手段が奪われると非常に不便なので、路線を廃止しないでほしい。

答 市議会でも特別委員会を設置し、存続に向けて調査を行っている。地域の皆さんも積極的に路線を利用して、協力してほしい。

人とのつながりを大切にすまちに



常磐中学校
三浦 小波

問 地域や子ども会の活動に参加したことで、これらの活動を通して交流が深まると実感した。子どもから大人まで幅広く参加できる行事を市が開催してはどうか。

答 個性あるまちづくり支援事業において、先駆的で夢のある活動を支援しており、今後さまざまな方法で支援を行いたい。

安心して生活できるまちづくりを



羽津中学校
山崎進太郎

問 歩道には狭い場所や段差が多く、車いすを体験した際うまく進めなかった経験がある。高齢者や体の不自由な人が災害時スムーズに避難できるよう整備をすべきではないか。

答 災害時に限らず高齢者などが自由に移動できる社会になるよう、今後も歩道の段差解消などバリアフリー化に取り組んでいく。

多文化共生のまちづくりの取り組みを



西笹川中学校
細川 彩花

問 本市は、多文化共生のまちづくりについて、具体的にどのようなことを実施し、今後どのような取り組みを考えているのか。

答 日本語教室や生活ルールのガイドブックの作成を行い、安心して生活できるように努めている。今後も多文化共生の重要性を広く市民に啓発し、共生社会の実現を目指す。

高齢者が健康で幸せに暮らせる活動を



塩浜中学校
福井 悠斗

問 塩浜地区は、健康に関心が高く、健康で生き生きと暮らす活動を工夫している。他地区では、どのような活動を行っているのか。

答 健康づくり教室、おしゃべりや合唱などのふれあい活動や、子どもと高齢者が共に参加できる催しなど、地区ごとに工夫を凝らした取り組みを行っている。

誇れる文化財である楠城跡の活用について



楠中学校
高井 雅利

問 楠城跡は誇れる文化財であると考えます。楠城跡を整備し俳句大会等の開催や、埋蔵物の調査をすべきと考えるが、どうか。

答 例年、楠城跡周辺でコンサート等が行われており、提案の企画も参考にしたい。また、開発予定がない今は、現状を保存し後世に残すことが文化財を守ることになる。

孤独死を防ぐための施策を問う



西朝明中学校
市川 豪士

問 お年寄りが幅広い世代と交流できる地域の行事への参加が大切と考えるが、市の孤独死対策の現状と今後の計画は、どうか。

答 訪問給食事業や緊急通報装置の貸し出し、在宅介護支援センターや民生委員の訪宅活動を行っている。上下水道局と連携し、異変を早期に発見する仕組みを考えている。

市内のスポーツ施設の整備について



山手中学校
林 虹輝

問 霞ヶ浦野球場に駐輪場を整備すべきである。またスポーツ施設は老朽化が進んでいるが、効率的な施設整備がされているのか。

答 駐輪場については、駐輪スペースを設けるなどの工夫をする。大規模な施設整備については、平成33年開催予定の三重国体に併せて計画を策定していく予定である。

高齢者に住みやすいまちにするために



南中学校
井上 誠也

問 高齢者が住みよいまちとなるためには、学校の福祉体験等で学んだことを生かす場が必要である。生涯を通じて社会貢献ができるような場を本市では設けているのか。

答 地域・学校・職場等で、認知症サポーター養成講座を開いている。多くの人に受講してもらいたく、この活動に協力してほしい。

四日市シティロードレース大会のPRを



三滝中学校
松本 響

問 四日市シティロードレース大会に新たに参加する人を増やすために、四日市だけでなくもっと幅広く参加を募ってはどうか。

答 全国から3500人以上の参加があり、道路の通行止め等で迷惑をかけていることから人数制限している。今後は、参加者にさらに満足してもらえる大会となるよう努める。

教育委員長講評

子ども議員の皆さんには、この貴重な体験をぜひ生かしていただきたいと思います。本日の経験が、本市のことを考えるきっかけとなれば幸いです。

四日市市の子どもたちが、豊かでたくましく育つよう、願っております。

子ども議員名簿

中学校名	子ども議員名
中部中学校	鷺野 千紘 裏川 知華
橋北中学校	井口 夢香 杉浦 颯希
港中学校	宮本真奈未 三厨 朱音
塩浜中学校	福井 悠斗 今村 美咲
山手中学校	林 虹輝 加藤 隆斗
富田中学校	岡森 一樹 佐藤 謙真
富洲原中学校	野呂 和主 平川 恭介
笹川中学校	森脇 輝 小津 佑真
南中学校	井上 誠也 今村 結香
三滝中学校	松本 響 柳川 幹太
大池中学校	構江明日菜 明星 伶奈
朝明中学校	安田 竜輝 長尾紗玖良
保々中学校	樋口 大聖 市川 大晋

中学校名	子ども議員名
常磐中学校	三浦 小波 清水 咲帆
西陵中学校	森下 奈留 矢田 冬美
西笹川中学校	細川 彩花 平井 翔真
三重平中学校	田中 優衣 羽場 美友
羽津中学校	山崎進太郎 幸田 夏澄
西朝明中学校	市川 豪士 伊藤 武
桜中学校	笠井 菜央 白井 彪史
内部中学校	松高 亜樹 原田翔太郎
楠中学校	高井 雅利 井上 聖菜
海星中学校	小森 陽斗 中子 真矢
メリノール女子学院中学校	吉原 実沙 井濱 英子
暁中学校	長谷川清秀 可知 拓磨

質問をした子ども議員と項目 (質問順)

基本目標 【議長・副議長】	質問者	質問概要
1. 都市と環境が調和するまち 【議長】 岡森 一樹 【副議長】 佐藤 謙真	構江明日菜	◆環境と進化していく都市
	長谷川清秀	◆清掃活動からマナー・モラルの向上へ
	鷺野 千紘	◆安心・安全な環境都市「四日市市」
	松高 亜樹	◆緑ある快適な環境を実現するまちへの提案
2. いきいきと働ける集いと交流のあるまち 【議長】 笠井 菜央 【副議長】 白井 彪史	野呂 和主	◆富洲原地区を盛り上げるために
	田中 優衣	◆四日市の観光の取り組みについて
	井口 夢香	◆橋北地区の現状と地場産業「萬古焼」
	安田 竜輝	◆産業・観光の発展・振興について
3. 誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち 【議長】 宮本真奈未 【副議長】 三厨 朱音	小森 陽斗	◆人とまちと環境と
	樋口 大聖	◆保々地区における道路状況について
	森脇 輝	◆移動しやすい道路空間や公共交通の維持について
	山崎進太郎	◆安心して生活できるまちづくり
4. 市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち 【議長】 吉原 実沙 【副議長】 井濱 英子	福井 悠斗	◆ふれあい、支えあう街づくり
	市川 豪士	◆孤独死について
	井上 誠也	◆高齢者に住みやすい町
	三浦 小波	◆人との繋がりを大切にすまち
5. 心豊かな“よっかいち人”を育むまち 【議長】 森下 奈留 【副議長】 矢田 冬美	細川 彩花	◆外国人と共に暮らすわたしたちのまち
	高井 雅利	◆誇りに思える楠町を目指して
	林 虹輝	◆市内スポーツ施設の整備について
	松本 響	◆みんなに参加してほしいスポーツ

閉会あいさつ

子ども議員の皆さんの質問や、他の子ども議員の質問・答弁を聞く態度、議長・副議長としての進行、いずれも素晴らしいかと思えます。

保護者の皆さん、関係者の皆さんに対して、ご尽力いただきましたことを改めてお礼申し上げます。

あとがき

平成24年度広報広聴委員会で編集を行いました。次号から広報広聴委員会は新しいメンバーに変わります。

広報広聴委員会 (○委員長 ○副委員長)

○藤井 浩治 ○加納 康樹 石川 善己 土井 数馬
 豊田 政典 森 智広 山口 智也 山本 里香

「よっかいち子ども議会だより」は、再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。